富士河口湖高校同窓会だより

河高北陵館通信 Vol.32

山梨県立富士河口湖高等学校
同窓会事務局

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663－1 TEL 0555-73-2511 FAX 0555-73-2513 http://www.mfi.or.jp/kawakou/

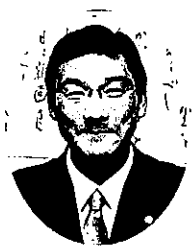
同窓会とは

同窓会長
真田　喜久雄（三期生）

昨年7月の総会にて第6代の会長を仰せつかりました真田喜久雄です。微力ながら精一杯務めてまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。河高は1977年の開校から38年が経ち、今春は36期生が卒業、39期生が入学します。卒業生総数は1万1千人余りとなり、社会の様々な分野で中核的な人材として活躍しており、富士北麓地域における重要な人材輩出の拠点となっています。さて、同窓会についてですが、活動のメインは毎年1回、7月に行う年次総会です。1999年の第20回総会を機に1期生から順番に卒業後20年目の学年が当番幹事となり、総会や記念行事の企画・運営を担当しています。これまで、夜回り先生こと水谷修氏や昨年のデーモン小暮氏など著名な方の講演会や富士河口湖町への記念品の寄贈など様々な行事を開催しています。また、体育館の組み立てステージや遠征用のマイクロバスなど、母校の施設改善や活動支援も行っています。今年の幹事である17期生の皆さんには、当時の仲間たちと旧交を温めながら話し合いを重ねることで内容を決めていただき、ぜひ思い出の残る総会となることを期待しています。話は変わりますが、今年は阪神淡路大震災から20年目となります。人と人とのつながり、「絆」ということがあらためて強く認識されています。同窓生もいろいろな関係を通じて、河高で過ごした日々や何かあるたびに当時を思い出し、絆を意識する。同窓会はそうした面ももっているものと思います。再来年（2017年）には、河高は創立40周年の節目を迎えます。着実に歴史を刻んでいるわけですが、今後も同窓会相互の親睦を深め、母校の事業を応援し、地域文化の発展に貢献していきたいと思っています。

心なごんでわれらは

校長
小石川　正文



こんにちは。平成二十六年四月に着任した、小石川と申します。何卒宜しくお願い申し上げます。河高の勤務は二度目で、通算十三年目の勤務を継続中です。さて、着任早々からも同窓会の皆様からは、嬉しいご案内やご協力の数々を賜り、心より御礼を申し上げます。大役での着任で不安な中、有り難くかつ心強く思っております。同窓生の情報として、既にご存じかとは思いますが、本校一期生の青木人志氏には、昨年四月、一橋大学法学研究科長・法学部長に就任されています。また、ロンドンオリンピック・カヌー競技出場、仁川のアジア大会優勝の藤嶋（旧姓渡邊）大規氏は二十八期生です。共に嬉しいニュースです。お二方にはご多忙の中を既に本校を訪問され、大きな激励を学校にいただいております。後輩である生徒たちの活躍ぶりの一端をご紹介します。昨春の県高校総体での本校の活躍ぶり、関東大会、インターハイへの出場数の多さをあげられます。特筆すべきは、本校カヌー部員が、地元山梨開催のインターハイ、日本ジュニア選手権、長崎国体等で、合計6つの優勝、つまり日本一という、快挙を遂げています。玄関前のロータリーには、全国一位となった生徒やチームを称える石碑がありますが、諸先輩の全国一と並び、今年度新たに名前が刻まれ、永く栄誉を称え喜び合うものとなっています。この他にも、例えば、全国高等学校総合文化祭の朗読部門への出場の放送部をはじめ、県高校芸術文化祭の各部門においては多くの入賞を果たすなど、文武一体の具現化は著しいものがあります。同窓会員の皆様には引き続きましての温かいご支援とご指導の程を宜しくお願い申し上げます。また、「心なごんでわれらは」の母校にもお出かけくださいますようご案内を申し上げます。結びに、本校第三代校長渡邉渡先生には、高齢者叙勲にて瑞宝小授章を、第八代校長深澤好司先生には、教育功労賞を受賞されましたことをご報告申し上げ、心からお祝いを申し上げます。

カヌーアジア大会金メダル

28期　藤嶋　大規

こんにちは。富士河口湖高校28期生の藤嶋大規（旧姓渡邊）です。私は昨年9月に韓国で開催されたアジア大会で金メダルを取ることができました。金メダルを取ることは今年度のナショナルチームの最大の目標でもあったので、それを達成できたことは大きな自信になりました。今年度は自分の結果だけでなく母校のカヌー部の後輩も全国大会で多くの成績を残してくれました。後輩たちの活躍も追い風となりアジア大会での優勝に繋がったと思います。そしてアジア大会だけでなく、世界選手権でも今年度は世界のトップ選手との差も縮めることができました。少しずつではあるが世界のトップの背中が見えてきたのかと実感できる試合となりました。しかし、差は縮まってもメダルを取るにはまだまだ実力が足りないと思いました。日本代表で出場しているからにはメダルを目指すことをモチベーションに来年度の世界選手権を目指したいと思います。今年度からは富士河口湖町役場の職員となり、地元からカヌーを盛り上げていけたらと思っています。また富士河口湖高校の卒業生として、ロンドンオリンピックだけでなくリオネジャネイロオリンピックの出場を目指したいと思います。来年度はリオネジャネイロオリンピックの出場をかけた予選も始まります。次のオリンピック出場は通過点なので、出場するだけでなく結果を残すことが自分にとっての目標です。ロンドンオリンピックでは悔しい気持ちが残ってしまったので、リオネジャネイロオリンピックでは悔しい気持ちを嬉しい気持ちに変えたいと思います。2020年には日本でオリンピックが開催されます。私はその時32歳になって現役を続けているかわからないですが、母国開催はこの先あるかわからないので東京オリンピックも視野に入れながら活動していきたいと思います。そして、東京オリンピックの時は今地元で頑張っている後輩たちと一緒にオリンピックに出られるようにお互い努力していけたらと思っています。オリンピックでもメダルを目指す上でより多くの応援が必要なので、もっと応援してもらえるように自分自身も模範となる選手を目指してこれからも頑張っていきます。在校生の皆さんも何か大きな夢や目標を持って残りの学校生活を過ごしてください。

「同窓会総会に向けて」

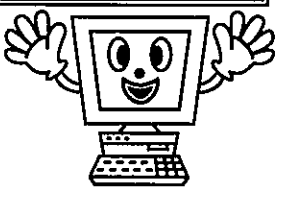
第36回山梨県立富士河口湖高等学校 同総会 副実行委員長
加藤　正樹

この度、第36回山梨県立富士河口湖高等学校同窓会の副実行委員長を拝命しました17期生の加藤正樹といいます。河高を卒業して20年。当時は、このようなお役を拝命するとは思いもしませんでしたが、ひょんなことから副実行委員長のお役を拝命することとなりました。簡単に私の自己紹介をさせて頂きます。私が河高に入学した23年前。Jリーグがスタートし、野球部は冬の時代でした。それでも、たくさんの先輩や後輩、友人に支えられ、たったの3人で野球部を守り続けてきました。富士河口湖高校で頂いた先生方からのご指導。出会った先輩や後輩、そして友人が自分を育ててくれたといつも感謝しております。

現在、私は、富士吉田市でパソコン教室を営んでいます。クラス理事や生徒会役員ではありませんでしたが、同窓会実行委員の最初の打ち合わせの時に声をかけられて参加すると、仕事柄、自由になる時間が多いこと、パソコンを使っての作業が多いことなどから、副実行委員長のお話を頂きました。思いもよらぬご指名に副実行委員長の大役が務まるのか本当に不安でしたが、笑顔いっぱいの同窓会になるように17期生のために頑張ってみようと思い、力不足ですがお引き受けさせて頂きました。これからの半年間、母校のため、同窓会のために17期生の先頭に立ち、みんなと協力しながらこの大役を全うしていきたいと思います。私の尊敬する指導者の言葉に「他が為に尽くせしことは忘るるとも受けしご恩は忘るべからず」という言葉があります。富士河口湖高校で先生方や友人から頂いたたくさんのご恩をお返しする時は今と思い、頂いた大役を精一杯務めていきたいと思います。

最後になりますが、第36回山梨県立富士河口湖高等学校同窓会を開催するにあたり、同窓会役員の先輩方、同窓会実行委員、第17期生、在校生、先輩方、先生方、関係各位の皆様には多大なご尽力、ご協力を賜り本当にありがとうございます。これからもご支援、ご協力の程よろしくお願いします。

河高同窓会
ホームページを
是非ご覧ください。



今年の同窓会総会・懇親会は
2015年7月4日(土)
開催決定!!

講演会　於 さくやホール
俳優.お笑いタレント.歌手.映画監督.
演出家.司会者.コメンテーター
坂上　忍 ※予定